

## マストの整備 (2020年5月)

## ヨット整備勉強会

マストを倒して(降ろして)整備を・・・オンデッキマストの場合、クレーンを使えば大変な作業ではありません！マストトップの Windex の交換や調整、白灯の玉交換ならクライミングで可能かもしれませんが、ハリヤードのシーブ交換、風向風速計の設置、リギングの交換などは、マストを降ろさないと難しい。

又、ヨットが古くなってくると、目の届かないマストのトップは様々な不具合が出ています！

10年以上経過したら、一度はマストを降ろして整備されることをお勧めします。

マスト倒しは、いろいろな方法があります！我々の経験と実績では・・・

何れもオンデッキマストの実績ですが、スルーマストでもしっかりと事前準備を行えば可能と思います。

方法は大型艇のスピンハリヤードで吊り上げてもらう・ユニック車を使う・移動式クレーンを使う・・・です！

但し・・・マストを倒したら、その置き場が確保できるかどうかが課題です。

\* 31ftのマストを41ftのスピンハリで吊り上げて倒した。

隣同士とは云え、どうしても釣り上げ角度があるので、容易ではない！

それぞれ2人以上はサポートが必要です！

何とか倒れたが、マストを乗せるのは無理で、この時はユニック車を使った！



\* ユニック車を使う・・・岸壁に横付けして作業を行うが波があると容易ではない、スプレッダーにベルトを巻いて吊り上げる！

立てた後、ベルトをどう外すかを考えておかないといけません！（クレーンのフックにも工夫を！！）



\* クレーン車を使う・・・船体を上架し、船台に乗せてから吊れば、安全に吊り上げられる！

この場合、スピンハリ+ジブハリ(Safety)のエンドに舳結びで輪を作りフックにかけ、トップから1mの長さで吊ります。

移動式クレーンにはフックに親と子があり、マストは子を使って写真のように軽々と吊り上げます！

\*\* マスト降ろして、最もめんどくさいのはキャビンとマストの間の配線の切断と立てた後の接続です！・・・白灯、無線アンテナ、風向風速計、スプレッダーライトなどがあります！



この34ftの  
た！

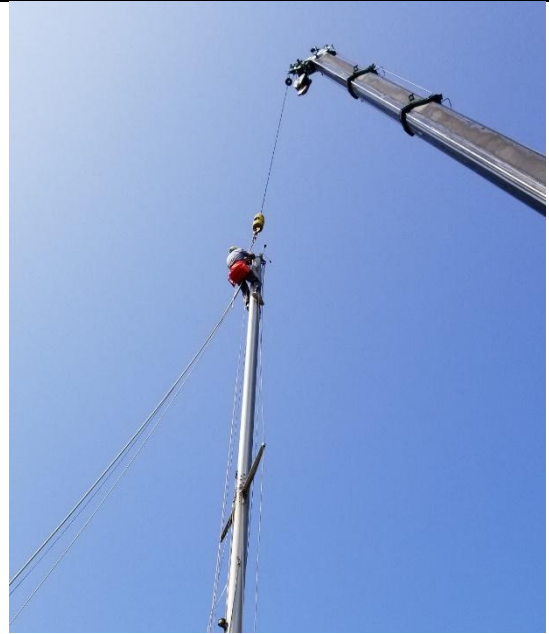
場が確保でき



スピン用ブロックはベアリングボールが無くなっていた！

Windex を取り付ける際は固定ボルトにネジロックを付けることは必須です！

クレーンを使って、こんなこともできます！  
ボースンチエアに座ってアッという間にマストトップ  
へ！  
高所恐怖症の方は無理です！



30年以上使用したハリヤード用シーブは突然重くなっ  
た！？原因は劣化でバラバラに！！  
右は新品を4個すべて交換！



左は34ft マストのシーブ、30年以上前はハリヤードのエン  
ド部はワイヤーが使用されていたのでシーブもアルミ製で劣  
化してバラバラにはならないが、塩と錆で固着し、回らないの  
で重くなっていた！

丹念に塩出しと、インナースリーブを磨いて回るようにした！

今回、オーナーは全てのハリヤードをロープに変更！  
このワイヤ用スリーブでも10mm以下ならロープでも可能！  
最近のロープは強度も耐久性も格段に向上しています！